



しろね図書館だより

No. 203

～Since 2000～

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
shirone.cl@city.niigata.lg.jp
2017年4月発行

くらしのなかに図書館を



「おはなしのじかん」の
開催時間が変わります。

～こどもの読書週間事業 ご案内～

白根図書館・月潟図書館共通事業
わくわくスタンプラリー

毎週土曜日、午後2時10分から開
催してきました絵本のよみかたり
は、4月から時間を変更します。

午後2時～2時20分

●ストーリーテリングはこれまで
どおり、午後2時30分からです。

4/22 (土)～5/31 (水) に白根図書館・月潟
図書館で本を借りたり、読書週間事業に参加して、スタ
ンプを集めよう!

スタンプを5つ集めるとプレゼントがもらえるよ。

●スタンプカードは4/22 (土) から配布します。

●スタンプカードは白根図書館・月潟図書館共通で
使えます。

☆「この本だいすき!」も同時開催

期間: 4/22 (土)～5/31 (水)

おすすめの本をたくさん紹介してください!

平成29年度職員紹介

白根図書館

館長 大平
伊藤(司書)
小林(司書)
星野
大木(司書)
早川(司書)
大橋(司書)
NEW! 太田(司書)

白根図書館 学校図書館支援センター

NEW! 子安(司書)
佐久間(司書)

今年度も白根図書館をよろしくお願ひしま
す。

図書館員がおすすめする
この1冊

作家の口福

本のタイトルにある「口福（こうふく）」とは、「おいしい物を食べて感じる満足感」という意味だそうです。恩田陸、三浦しをん、池井戸潤など、20人の作家たちが語るおいしい食べ物（たまに飲み物）にまつわるエッセイを集めた本です。

何を食べたときに幸せを感じるかはひとそれぞれ。中には果たして幸せなのかどうかもわからない話も混じっていて、作家独自の切り口を楽しめます。

第二弾で『作家の口福 おかわり』もあります。

(伊藤)



恩田陸／ほか著
朝日新聞出版社

子どもたちといっしょに

パンダともだちたいそう

親子で楽しめるえほん



いりやまさとし／作
講談社

笛の音とともに始まるパンダたちの楽しそうなたいそう。次々とどこかで見たことあるかも？な、あれやこれに変身します。次はなにかな？なにかな？と思いながら、ともだち誘って一緒にたいそうするのも楽しいかもしれません。一緒に『パンダなりきりたいそう』もどうぞ。

(早川)



4/6~5/2
今月の展示架

図書館を知ろう？



普段使っているけど、図書館ってどんなところ？
この機会にぜひ、図書館について知ってください！

4/22~6/6
読書週間の展示架

この本だいすき！

みなさんのおすすめの本を
たくさんおしえてください！！



☆白根図書館 5/3 までの行事☆

白根図書館休館日 毎週金曜日・毎月第1水曜日

4/7(金) 4/14(金) 4/21(金) 4/28(金)

☆5/3(水)は、新潟市立図書館全館開館します☆

おはなしかご例会

毎月第2・第4土曜日

※白根図書館で活動しているボランティアグループの勉強会です。

4/8(ルーム4.5) 午前10時~
4/22(ルーム4.5) 午前10時~

ブックスタートは 4/13(木)です。

3月の来館者数…10,147人

おはなしのじかん
毎週土曜日

絵本のよみかたり
午後2時~
ストーリーテリング
※おはなしをかたります。
午後2時30分~

読書会
(毎月第3日曜日に開催)

4/16(情報研修室) 午後1時30分~

赤ちゃんタイム 毎週土曜日 午前11時~午後2時30分





3月の読書会

3月19日(日)

参加者 6名

今月のテーマ

若い人にすすめたい本

白根図書館

読書会報告

NO.197



◆『名探偵ホームズ全集 第1巻』◆

コナン・ドイル／原作 山中峯太郎／訳著（作品社）
原文にない話を作り、子ども向けに変えていた山中峯太郎氏の翻訳は批判もあったが、小学生の時にこの作品を読んでホームズのファンになった私には、山中氏の翻訳のほうが面白い。

◆『昭和史 1926-1945』◆

半藤一利／著（平凡社）

◆『B面昭和史 1926-1945』◆

半藤一利／著（平凡社）

両方読むと庶民と権力社会との解離がわかる。今に繋がっている大事な日本の近・現代史を、若い人に読んでもらいたい。

◆「蟹工船」(『蟹工船・党生活者』に収録)◆

小林多喜二／著（角川書店）

◆『母』◆

三浦綾子／著（角川書店）

若い人にもプロレタリア文学を見直してもらい、自分が置かれている場所を認識してほしい。昭和初期から比べると今の時代は恵まれているように見えるが、格差が生まれている。

◆『居酒屋ぼったくり』◆（既刊1~7巻）

秋川滝美／著（アルファポリス）

両親を亡くした姉妹が経営する居酒屋の話。お酒の情報や簡単な料理の方法が載っているので面白い。若い人にもチェーン店ではない地域密着型のお店に行ってもらいたいと思い、この本を紹介した。

◆『それでも地球をまわってる』◆

音羽徒歩／著（イカロス出版）

女性が世界一周する話。行く先々で悪い人に騙されるが、読んでみると自分も旅をしているような気分になった。若い人にも旅に出てほしい。

◆『もう話そう 私と巻原発住民投票』◆

高島民雄／著（現代人文社）

巻原発反対運動に関わった弁護士の話。建設計画白紙撤回まで、お金を儲けたい人・当らず障らずの人・建設反対の人達の34年間のせめぎ合いは、読んでいて興味深かった。時間が経てば考え方も変わってくるという事を若い人にも知ってもらいたい。

◆『翻訳できない世界のことば』◆

エラ・フランシス・サンダース／著・イラスト

前田まゆみ／訳（創元社）

そこで生活していないと理解できない各国の言葉を紹介している。ひとつの言葉でうまくいかなくても別の角度から説明してあげる知恵を、若い人には持ってほしい。

◆『モーツァルト』◆

柴田治三郎／著（岩波書店）

幼い時から天才と言われて世界中を回り、学校に行かず、友達もいなかったモーツァルトの人生は幸せだったのか。信じられないような生活から美しい音楽が生まれたことを、若い人にも知ってほしい。

◆『古事記物語』◆

福永武彦／作（岩波書店）

小学生にも読めるように、古事記をわかりやすくしたもの。海外に行った時に「日本にはこんな古い話があるんだ」と話せるように、若い人に読んでもらいたい。

～他にもこんな本が紹介されました！～

◆『And Then There Were None』◆

アガサ・クリスティー／著（HaperCollins Publishers）

◆『文芸みなみ風 第8号（平成28年度）』◆

白根文化協会文芸部会・「文芸みなみ風」編集委員会／編
（白根文化協会・白根地区公民館）

◆『アラスカ 光と風』◆

星野道夫／著（福音館書店）



次回の読書会



☆4月の読書会テーマ☆

「昭和は遠くになりけり」

4月16日(日)

時間：午後1時30分～

会場：白根学習館2階 情報研修室

読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする、午後のお茶会のような集まりです。

申込みはいりません。気軽に本のお話をしましょう。

おいしいお茶とお菓子を用意してお待ちしています。

（しろね図書館友の会との実施事業です）

味方地区図書室だより

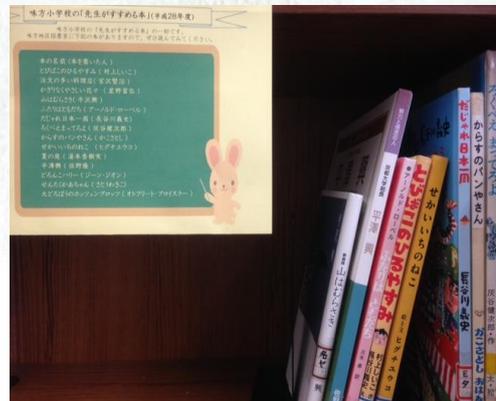
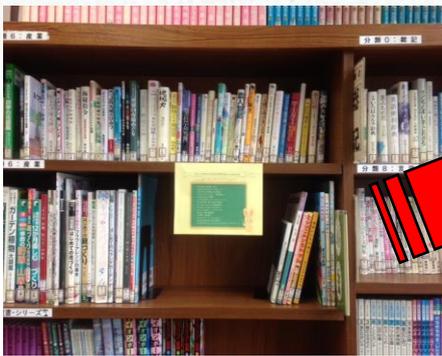
2017年 4月

〒950-1294 新潟市南区味方 1544 (味方出張所内) 電話：025-373-4788

開室時間：午前9時～午後9時30分

新しいコーナーを紹介します!

味方小学校の先生がおすすめる本を展示しました。
ぜひ読んでみてください!
大人の方におすすめる本のコーナーもありますので、
親子で一緒に図書室を利用してみませんか?



新着本コーナーの隣の棚に、味方小学校の先生がおすすめる本を展示しています。

★おすすめる図書のご案内★



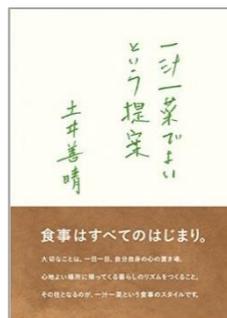
『ペンギんたいそう』
齋藤榎／さく
(福音館書店)

水族館や動物園でおなじみのペンギン。そのユニークで愛らしい動きは、まるで体操をしているかのよう。読みながら思わず身体が動いてしまう、親子で楽しめる絵本。



『しんせかい』
山下澄人／著 (新潮社)

19歳の山下スミトは、演劇塾で学ぶため北を目指す。辿り着いた先では俳優や脚本家志望の若者が自給自足の共同生活を営んでいた…。第156回芥川賞受賞作。



『一汁一菜でよいという提案』
土井善晴／著 (グラフィック社)

日本古来の「一汁一菜」を通して、現代日本の食文化の見直しを提言する1冊。具体的な実践法を紹介しつつ、自分で料理することの大切さなどを説いていく。

月潟図書館だより

2017年 4月

編集・発行 新潟市立月潟図書館

〒950-1304 新潟市南区月潟 1417 番地 電話：025-375-3001 FAX：025-375-1060



月潟図書館は、4月20日で開館20周年を迎えます。

いつもご利用ありがとうございます。

平成29年度も、皆さまのご来館をお待ちしております！

平成29年度職員紹介

- ◆大平（白根図書館長・月潟図書館長 兼務）
- ◆大瀧（司書） ◆長谷川（司書）
- ◆五十嵐 ◆細海 ◆山坂



4月のテーマ展示コーナー



「アート・ミックス・ジャパン関連展示」

人形浄瑠璃や和太鼓など多彩な伝統芸術を楽しんで学べる春の祭典「アート・ミックス・ジャパン」（新潟市で4月23日まで開催中）に関連して、日本やアジアの国々の伝統芸能に関する本を展示します。

「この本だいすき！」

4月22日（土）～5月31日（水）
読んでおもしろかった本、みんなに読んでもらいたい本など、おすすめの本をいっぱい紹介してね！

「春のスペシャルおはなし会」

5月13日（土）
午前10時30分～11時15分
絵本のよみかたりとカンタンな工作のイベントです♪

こどもの読書週間イベントのご案内

「わくわくスタンプラリー」

4月22日（土）～5月31日（水）

月潟図書館・白根図書館で、本の貸出や「おはなしのじかん」に参加してスタンプを集めよう！スタンプを5つ集めるとプレゼントがもらえるよ！

★スタンプカードは4月22日（土）から配布します。

★スタンプカードは月潟図書館と白根図書館共通で使えます。

月潟図書館 **4**月の休館日（5月第1週まで）

10日（月）、17日（月）、24日（月）、29日（土・祝）、5月1日（月）、4日（木・祝）、5日（金・祝） ※5月3日（水・祝）は開館しています

休館日 毎週月曜日・毎月第一水曜日
国民の祝日

開館時間

火曜～金曜：午前10時～午後7時
土曜・日曜：午前10時～午後5時

◎「おはなしのじかん」や「赤ちゃんタイム」で楽しいひとときを！

おはなしの
じかん

◇毎月第2・4木曜日午前11時～午前11時30分 場所：視聴覚室
◇毎週土曜日午前10時30分～午前11時 場所：視聴覚室

赤ちゃんタイム
毎週木曜日 午前10時～正午
場所：視聴覚室